

解析学概論 解答例

2015.05.25

■  $X = \mathbb{Z}$  における二項関係  $\sim^R$  を

$$x \sim^R y \iff \frac{y-x}{3} \in \mathbb{Z}$$

により定義する. このとき, (1) 二項関係  $\sim^R$  は  $X$  における同値関係であることを示し, (2) 各  $k$  ( $k = 0, 1, 2$ ) に対して,  $k$  を代表元とする同値関係  $\sim^R$  に関する同値類  $C(k)$  を調べよ.

(解) (1) (i) 任意の  $x \in \mathbb{Z}$  に対して  $(x-x)/3 = 0 \in \mathbb{Z}$  より  $x \sim^R x$  である. (ii)  $x \sim^R y$  とすると,  $(y-x)/3 \in \mathbb{Z}$  より

$$\frac{x-y}{3} = (-1) \cdot \frac{y-x}{3} \in \mathbb{Z}$$

となるので,  $y \sim^R x$  である. (iii)  $x \sim^R y$  かつ  $y \sim^R z$  とすると,  $(y-x)/3 \in \mathbb{Z}$  かつ  $(z-y)/3 \in \mathbb{Z}$  より

$$\frac{z-x}{3} = \frac{y-x}{3} + \frac{z-y}{3} \in \mathbb{Z}$$

となるので,  $x \sim^R z$  である. 以上から, 二項関係  $\sim^R$  は  $X$  における同値関係である.

(2)  $A_k = \{k + 3n \mid n \in \mathbb{Z}\}$  とおく. (i) 任意に  $x \in A_k$  を取る.  $A_k$  の定義より, ある  $n \in \mathbb{Z}$  が取れて,  $x = k + 3n$  が成り立つので,  $(k-x)/3 = -n \in \mathbb{Z}$  より  $x \sim^R k$ , つまり,  $x \in C(k)$  となる. したがって,  $A_k \subset C(k)$  である. (ii) 任意に  $x \in C(k)$  を取る.  $x \sim^R k$  より  $(k-x)/3 = n \in \mathbb{Z}$  であるから,  $-n \in \mathbb{Z}$  より  $x = k + 3 \cdot (-n) \in A_k$  となる. したがって,  $C(k) \subset A_k$  である. 以上から,  $C(k) = A_k = \{k + 3n \mid n \in \mathbb{Z}\}$  である. ■